

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会議の名称	定例庁議	
開催日時	午前9時27分から 平成30年10月16日 午前9時33分まで	
開催場所	朝霞市役所 別館3階 市長公室	
出席者	<p>富岡市長、田中副市長、三好教育長、神田市長公室長、重岡危機管理監、上野総務部長、宮村市民環境部長、内田福祉部長、三田こども・健康部長、小酒井都市建設部長、田中会計管理者、木村上下水道部長、木村議会事務局長、二見学校教育部長、比留間生涯学習部長、渡辺監査委員事務局長</p> <p>(担当課) 濱財政課長、玄順同課長補佐</p> <p>(事務局) 太田市長公室次長兼政策企画課長、新井同課長補佐、村岡同課政策企画係主事、稲葉市長公室参事兼秘書課長</p>	
会議内容	1 平成31年度当初予算編成方針	
会議資料	・平成31年度当初予算編成方針	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 出席者の確認及び事務局の決裁	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【議題】

1 平成31年度当初予算編成方針

【説明】

（担当課：濱財政課長）

資料として配布している「平成31年度当初予算編成方針」について説明する。内閣府が公表した月例経済報告によれば、「景気は緩やかに回復している」としており、本市においても、平成29年度決算で市税が増加だった一方、扶助費は市税の増加以上に増加し続け、歳出総額の3割を超えていること、また、経常収支比率の増加率が県内の市平均よりも高いことなど、財政の硬直が一層進んでいることを述べている。

平成31年度は、継続事業であるシンボルロード、第八小学校自校給食施設等の整備や待機児童対策の実施などのほか、オリンピック・パラリンピックに向けた取組や、集中豪雨に対する対策の実施が必要になっていること、また、平成31年10月からは消費税が10%になることにより、歳出が大幅に増加することで、さらに厳しい財政状況になる見込みであることについて述べている。

このような中、各種施策を実現するために全ての職員が財源の確保を常に念頭に置くとともに、自らの業務を根本から見直し、最少の経費で最大の効果を上げるための方策を真剣に考えていく必要があることを書き記してある。

2ページ目以降については、基本原則、歳入に関する事項、歳出に関する事項が主な内容となっている。

各項目の主な点としては、まず、基本原則については、①第5次朝霞市総合計画の確実な実行を目指し、持続可能で安定した財政構造を確立するため、より一層の歳出の抑制、歳入の確保に努めること、②国県などの補助制度の情報収集や研究に努め、積極的に依存財源の確保に努めること、③平成31年10月に予定されている消費税率引き上げについては、引き上げられた税率分を単純に計上するのではなく、経費等の見直しを十分に行い節減に努めることなどである。

歳入に関する事項については、①的確な収入見込み額を計上すること、②収入未済額、滞納繰越金の縮減に努めることなどである。

歳出に関する事項については、①需用費・役務費については引き続き枠配分を実施すること、②補助金については、「朝霞市補助金制度見直しに関する基本方針」に基づき、各部で十分に検討の上、予算計上することなどである。

なお、この予算編成方針については、承認いただいた後、速やかに通知し、平成30年11月13日火曜日正午を予算要求の締め切りにしたいと考えている。

（担当課：玄順財政課長補佐）

枠配分予算について、平成31年度についても、引き続き一般会計及び水道事業会計を除いた特別会計を対象として実施したいと考えている。平成31年度の枠配分予算について

ては、平成27年度から平成29年度の決算における執行率と、平成30年度の当初予算額を参考としているほか、引き続き厳しい財政状況が予想されているので、支出の不確定な修繕費等についても精査している。

なお、新規事業や制度変更などの実施により、需要費、役務費が配分額を超えてしまう場合には、財政課長査定において調整させていただく。

[平成30年10月9日の政策調整会議の要旨について]

(神田市長公室長)

本件は10月9日に開催された政策調整会議において審議した。その際、質疑等はなかったが、私から予算編成に当たっては、財政当局だけが作成するものではないこと、また、それぞれが共通の認識に立っているという市の姿勢を問われているものであること、それを理解し、共有してもらいたい旨を指摘し、原案のとおり庁議に諮ることと決し、会を閉じた。

【質疑等】

なし

【結果】

提案のとおり、決定する。

【閉会】